

町民の声

小川をきれいに

徳丸 八束 和秀

水の豊かな松前町のイメージを損なわないためにも、「小川のきれいな松前町」でありたいと思っています。年間を通して自慢の出来る小川がいくつあるのでしょうか。

土砂が堆積した中州には草が伸びているし、水質の良くないところに生える藻が揺らいでいます。流れを阻まれた水は濁り、濁って、更に水質の悪化が進む筈です。川にゴミを捨てる人はいないでしょうから、上流からのゴミなのか、風で飛ばされたゴミなのか、中州の草や藻に引つかかっている見苦しい光景になっています。世の中、様変わりもあって川の水量を今以上に増やすことは出来ないのです。冬場には雨水しか流れない川もあります。



しかし現状は、小川を汚さないように心掛けても、汚れかけた小川を回復させるには我々だけでは手に負えなくなっています。

町の問題や社会の動きが見えてきて勉強になります。

住民総出の川掃除や町民による一斉清掃を実施したり、夏場の稲作時期に農家の人が岸の草刈や川藻の掃除をしたりします。でも、いつの間にか汚れてしまっています。

徳丸に環境部が発足して七年位になります。活動の一環でEM菌の一次培養を行っています。以来、自宅で二リットルのペットボトルに米のとぎ汁を使った二次培養液を作り、十数本並べて端っこから毎日一本分を川に流しています。先進地域のEM菌による水質向上の実績を励みにして続けています。

傍聴席

議会の傍聴は、はじめの一步

A・O

傍聴席入口の扉を開けたら、「あれっ！」どこかの記者さんだけ？久しぶりの一般質問の傍聴でしたが、今回は傍聴者が少ないのに驚きました。

しかし、質問はどれも私たちの暮らしに関わる問題で、質問に立たれた議員さんたちからは、熱意や気迫が感じられました。

先日ある解説者が、「お上がなんとかしてくれろ、時代は終わった。これからは自分たちで、社会をよくする時代」と語っていました。本当にそうだと思います。その手始めとして、身近な町議会へ足を運んでみませんか。

防災

議会も応援しています

東日本大震災におきまして亡くなられた方々、及びその御家族の皆様へ、衷心よりお悔やみを申し上げますとともに被害を受けられた皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。

当議会といたしましては即対応を協議し、町の義援金一千万円を全員一致で議決するとともに、議会及び議員一人一人の出来るかぎりの気持ち

を込めて全国町村議会議長会を通し、義援金を送らせて頂きました。

この国難時、皆様とともに一日も早い復興を心よりお祈り申し上げますとともに、当議会といたしまして引き続き支援していかねばと考えるております。今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。



町民からの救援物資も続々と集まっています

町民の声の現行をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。(500字程度)

【宛先】

松前町筒井631

議会広報編集特別委員会

「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail 500gikai@town.masaki.ehime.jp

本会議委員会

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

傍聴の手続きは、議会事務局(庁舎5階)で住所・氏名・年齢を書くだけの簡単なものです。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。(次回は6月上旬の予定です)